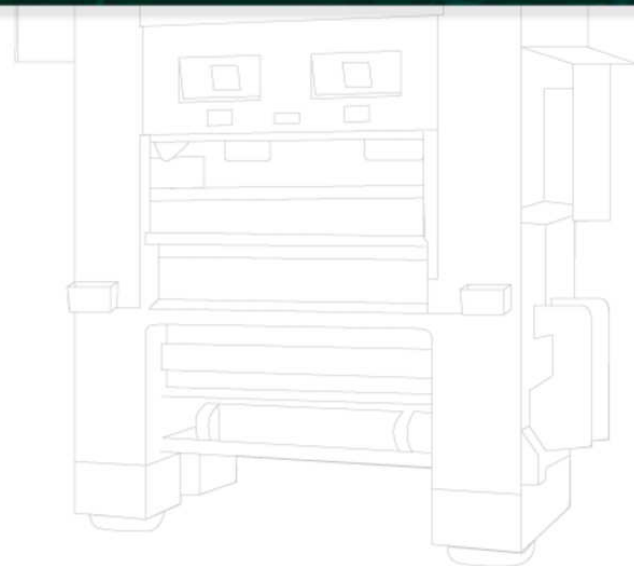


中期経営計画 2023年度-2025年度



アイダ エンジニアリング株式会社



【アイダの経営ビジョン】 環境・省エネ・技術進歩を支える先進企業として社会に貢献する

アイダが選定するSDGs重点項目

E 人と環境に優しい製品づくり

- 省エネルギー
- CO₂排出量抑制と廃棄物の資源化
- 環境に配慮した製品の開発
- 脱炭素社会の実現
- 環境負荷低減

S 社会の発展に貢献する価値の創造

- 品質・サービス向上
- 人的投資・人財育成
- ダイバーシティ
- 技術革新
- 知的財産
- 安全衛生
- 社会貢献
- 業界発展

G 社会との共生 に向けたガバナンスの向上

- コンプライアンス
- 株主還元
- 情報開示



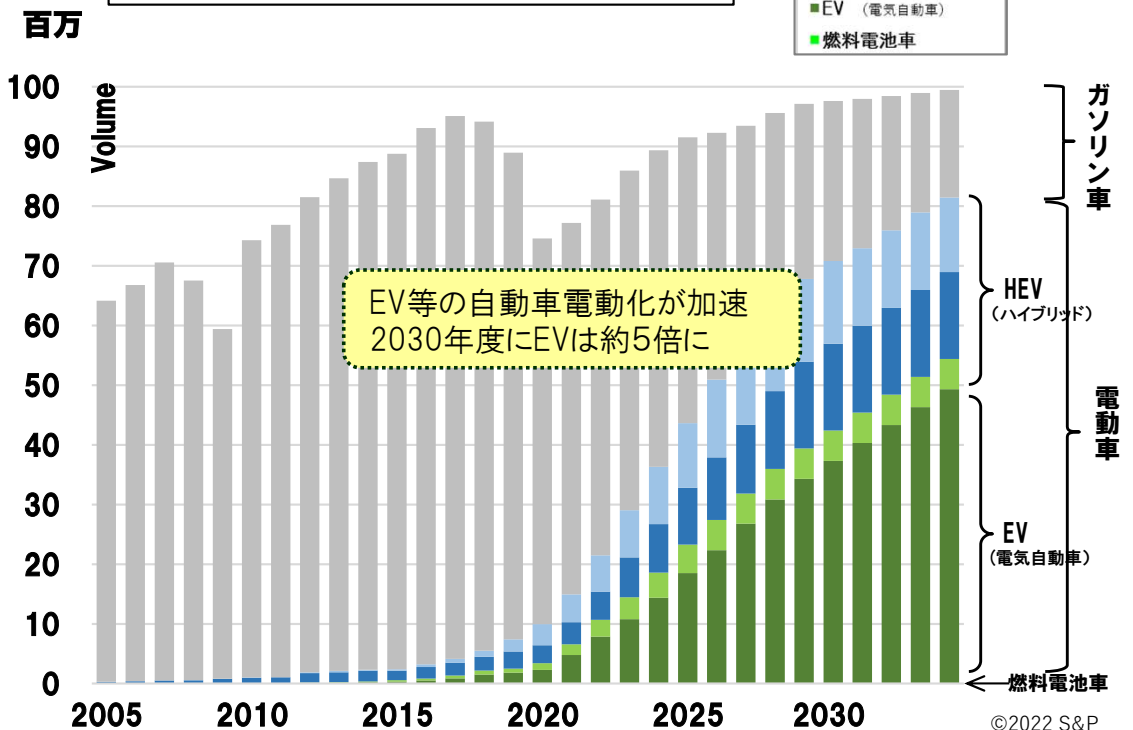
環境認識

- コロナ禍からの経済正常化が進む
- 経済ブロック化によりサプライチェーンリスク増大。グローバル化におけるリスク管理が重要に
- 脱炭素に向けた、自動車電動化やエネルギー対策が加速
- 特に、EV生産台数は2030年には現在の約5倍に増加
- デジタル化や省力化による生産性向上への取り組みも進む

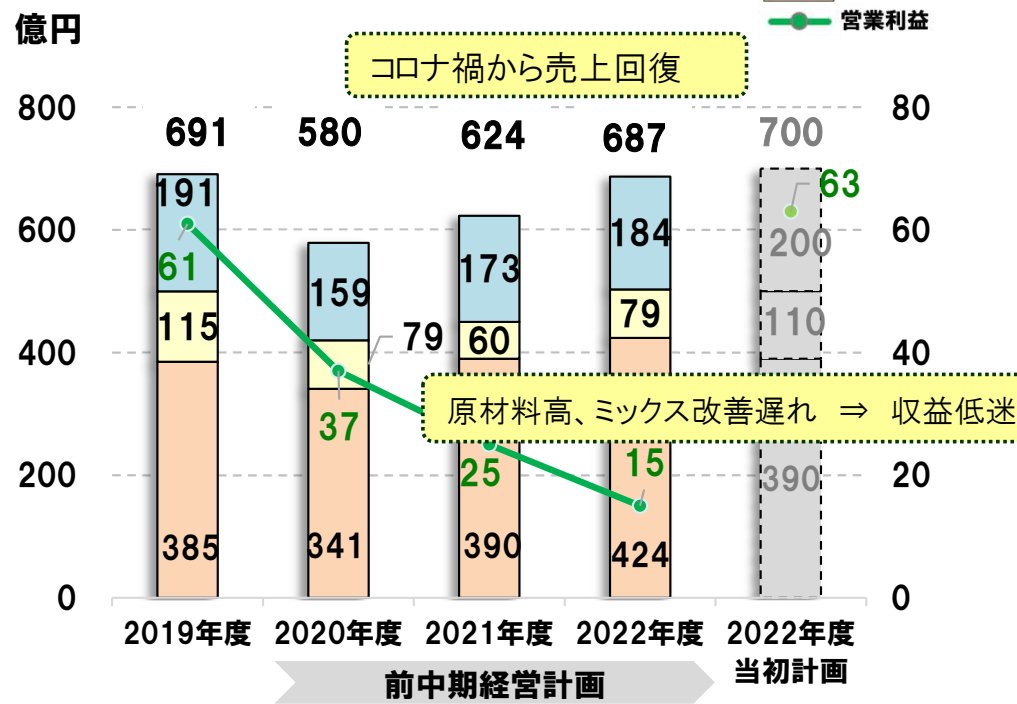
前中期経営計画振り返り

- コロナ禍で落ち込んだ売上は順調に回復
- EV需要の拡大に伴い、EV部品向けプレス受注が増加
- 一方、原材料費や外注費等の高騰が収益を圧迫
- 更に、電子部品不足、リソース不足等により、高速プレスやサービスの売上が伸び悩み、ミックス改善が遅れる
- デジタル化や環境・エネルギー分野の付加価値創出は途上

自動車生産台数予測【動力別】



売上高・営業利益推移



中期経営計画基本施策

事業ポートフォリオの変革

高付加価値・成長分野の拡大
経営資源をシフト

新たな付加価値の創出

アイダの技術を更に進化
(素形技術、金型・工法技術、
サーボ技術、モノづくりノウハウ)

経営基盤の強化

事業ポートフォリオ変革・新たな
付加価値創出を実現するための
足元固め

環境対策・社会貢献

「社会のために」「社会とともに」
持続的成長を実現

資本政策

戦略投資・人的投資・利益還元の
バランスを重視

【中期経営計画経営方針】
社会課題の解決により企業価値を向上し
ステークホルダーとともに持続的成長を目指す

企業価値の向上



顧客や社会の課題解決

- ◆次世代自動車のモノづくりを支援
- ◆お客さまの生産性向上(自動化・デジタル化)を支援
- ◆お客さまの環境負荷軽減を支援 等

ステークホルダー
に貢献

お客さま

従業員

協力会社

地域社会

ビジネスパートナー

株主・投資家

事業ポートフォリオの変革

高付加価値・成長分野の拡大 経営資源をシフト

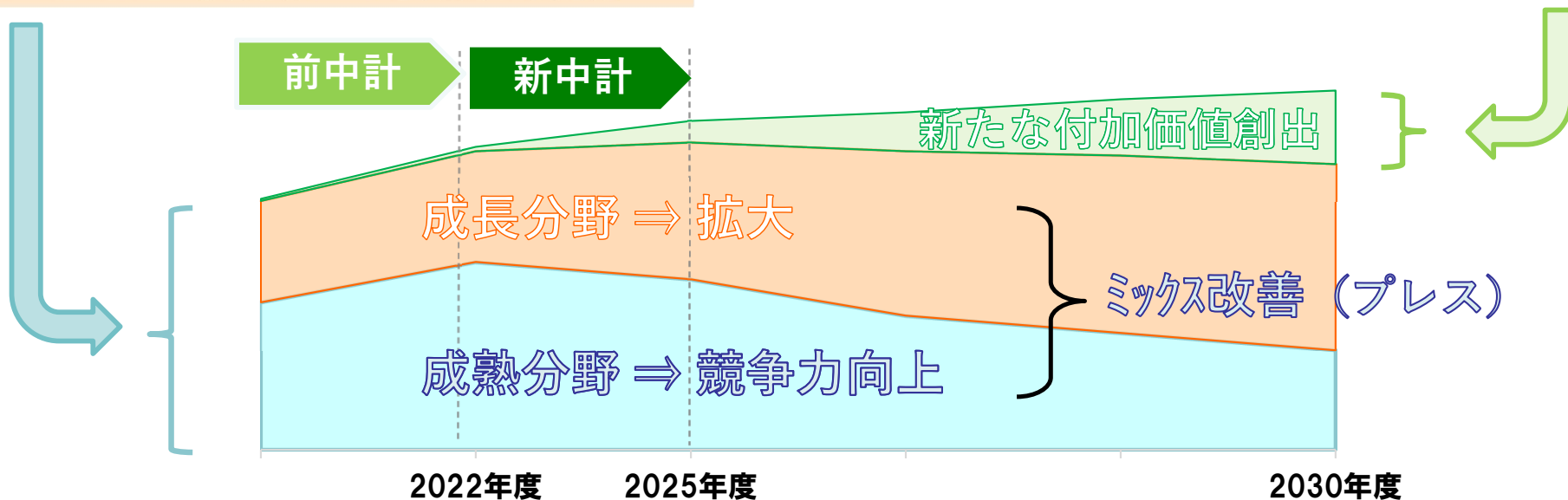
- ◆ **プレス事業【成熟分野/成長分野が混在】**
 ⇒ ミックス改善/成熟分野の競争力向上
 - ・競争力の低い製品からEV関連等の成長製品へシフト (高速プレス/UL/汎用プレス等の比重拡大)
 - ・新たな付加価値投入で製品差別化・競争力向上
- ◆ **自動機・FA事業【成長分野】 ⇒ 拡大**
 - ・海外での内製化強化
 - ・戦略投資
 - ・自動機単体販売拡大
 - ・DX・AI製品の拡充
- ◆ **サービス事業【成長分野】 ⇒ 拡大**
 - ・近代化ビジネス強化
 - ・予防保全ビジネス強化
 - ・DX・AIによるプレス診断強化
 - ・人員増強・人財育成

新たな付加価値の創出

アイダの技術を活かす (技術補完のための投資・協業も)

〔 素形技術、金型・工法技術、
サーボ技術、モノづくりノウハウ 〕

- ◆ **EV向けソリューション提供**
 - モーターコア生産ソリューション提供
 - バッテリーケース新工法技術開発
 - 熱冷却向け成形技術開発
- ◆ **エネルギー・環境向けソリューション提供**
 - 燃料電池関連部品への対応
 - 代替エネルギー部品への対応
 - 省エネ技術の開発
- ◆ **省エネ・省資源・省人化製品の開発**
- ◆ **DX・AIによるモノづくりソリューションの提供**



経営基盤の強化

事業ポートフォリオの変革・新たな付加価値創出
を実現するための足元固め

- ◆事業ポートフォリオ変革に伴う体制見直し
 - 高付加価値分野・成長分野へのリソースシフト
 - 事業戦略に沿った生産体制見直し
- ◆人的投資
 - 人財のリスクリング
成長分野、高付加価値分野への転換、DX人財の育成
 - 人財多様化と働き方多様化を推進
 - 健康経営、人的資産「見える化」推進
- ◆業務インフラのDX化推進
 - 生産性向上、ペーパーレス化
 - 業務のデータ化・可視化(経営課題解決に活かす)
- ◆DX・AIビジネス運営体制構築
 - ソリューション提供から後続ビジネスへ
 - サブスクリプションビジネス模索
- ◆サプライチェーン見直しと調達業務の改革
 - サプライチェーンの強靱化と複線化(グローバル化)
 - 在庫戦略の高度化
- ◆グローバルビジネスにおけるリスク管理強化
- ◆その他業務改善
 - 生産工場の再編 ⇒ 生産効率化と安全確保
 - 品質向上・安全対策強化

環境対策・社会貢献

「社会のために」「社会とともに」
持続的成長を実現

- ◆事業活動における脱炭素推進
- ◆環境に優しい製品の提供(顧客の脱炭素支援)
- ◆顧客の生産性向上支援
- ◆顧客の生産現場の環境・安全対策支援
- ◆地域貢献、地域活性化

資本政策

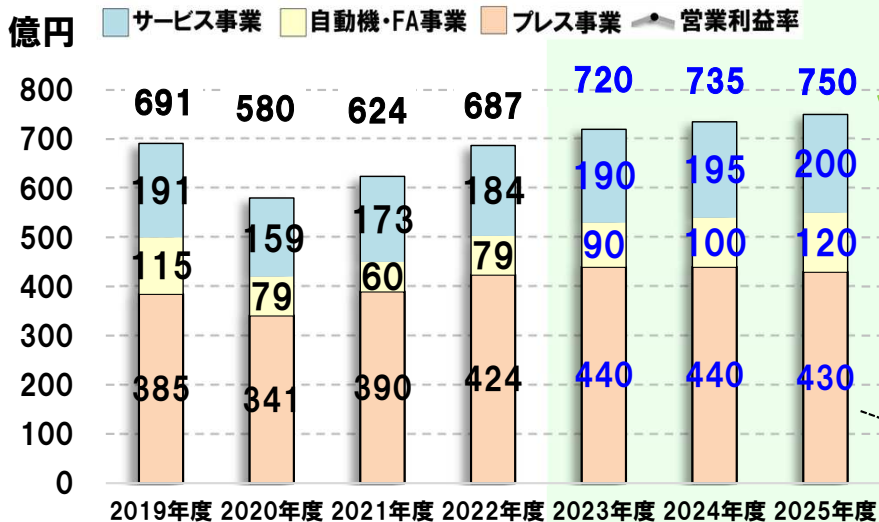
戦略投資・人的投資・利益還元を重視

- ◆資金効率改善
- ◆資本効率改善



事業別売上高

事業ポートフォリオ改善(サービス・自動機比率増)



長期展望
770億円
(~2027年度)

中期経営計画目標 (2023年度~2025年度)

売上高: 750億円
営業利益: 62億円
営業利益率: 8.3%

長期的に(~2027年度)
営業利益率10%を目指す

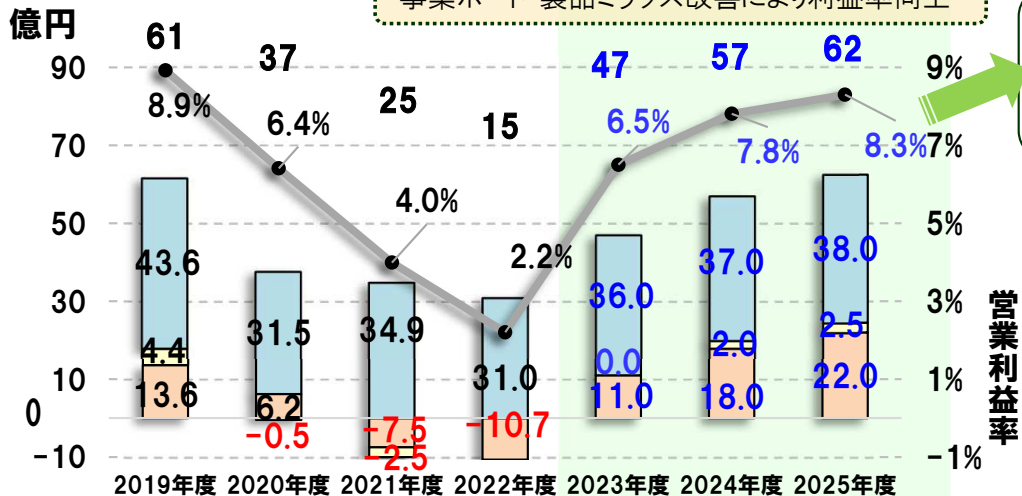
推定PBR: 0.8倍
(想定PER15倍)

PBR1.0倍超を展望
(想定PER15倍)

中計施策展開による持続的成長の実現

事業別営業利益

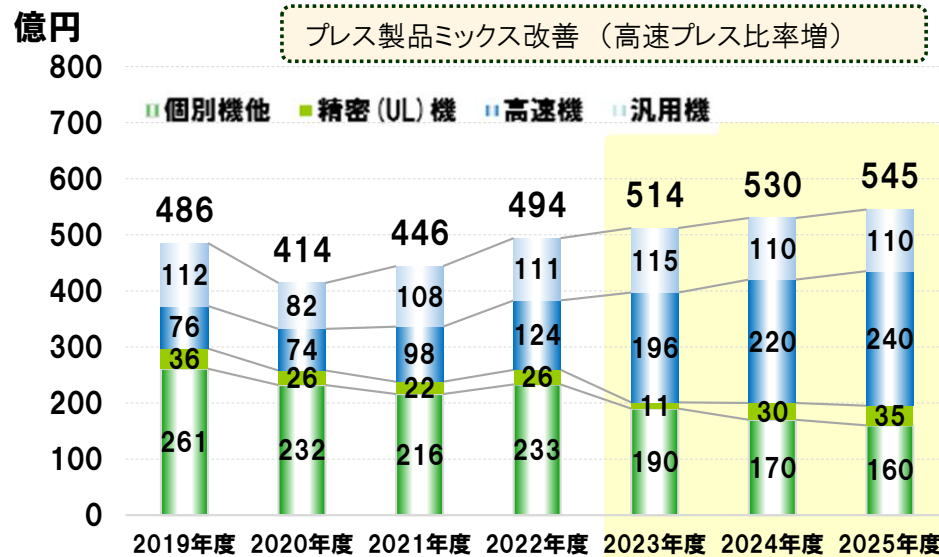
事業ポート・製品ミックス改善により利益率向上



長期展望
77億円
10%
(~2027年度)

プレス機種別売上高

プレス製品ミックス改善 (高速プレス比率増)



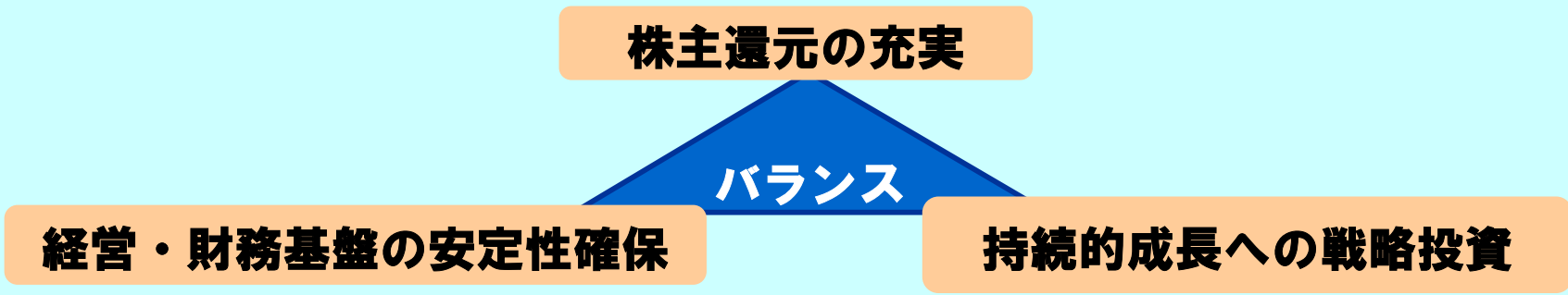
前中期経営計画

新中期経営計画

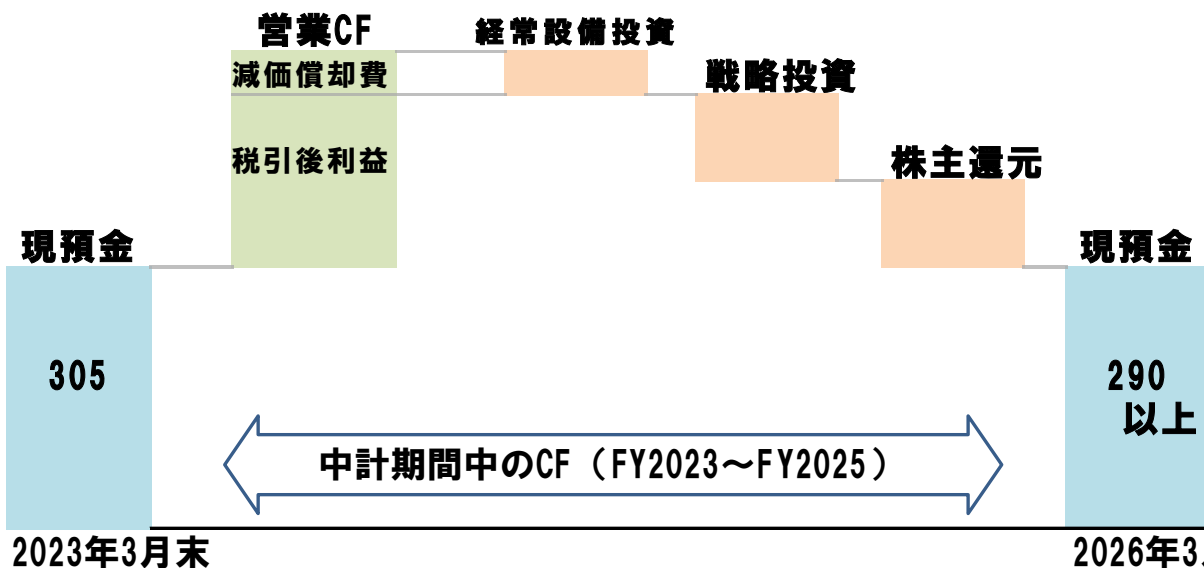
前中期経営計画

新中期経営計画

【基本方針】ステークホルダーとともに成長するという経営方針に基づき、経営・財務基盤の安定性確保と持続的成長への戦略投資を考慮しつつ、連結配当性向40%以上を目指し、安定的な株主還元を行うことを基本方針とする。



財務戦略と株主還元



営業CFを戦略投資・株主還元を活用

税引後利益: 中計3年間の営業利益166億円を前提とすると3年間で121億円
 経常設備投資=減価償却費: 計画では3年間で60億円
 株主還元: 配当と自己株取得

①運転資金補填、②災害対応に備え現預金維持

- ① 平常時のプレス・FA月商の3ヶ月分=140億円
- ② 工場復旧、社員休業補償=150億円